

大人も子どもも共に育つ、 地域がつながる森のようちえん

森のようちえんウィズ・ナチュラ（合同会社 SOULS）（奈良県）

<http://www.withnatura.com>

取組の目的・背景・沿革等

🌿 地域の環境や状況

活動拠点のある天理市高原地域は自然豊かでありながらも、都市部からのアクセスが良い。少子高齢化により過疎化が進む中、伝統行事や農地保全等のイベントに子どもたちや外部からの参加者を積極的に受け入れている。

地域の町おこしイベントなども協働で行っている。

🌿 取組の経緯・背景・理念等

森のようちえんウィズ・ナチュラは、年間を通して四季折々の豊かな自然の中で、子どもたちの主体性を大切に自然保育活動をしている。地域の皆さんとも交流しながら、持続可能なコミュニティ作りを目指して、子どもひとりひとりの持つ無限の可能性と成長のプロセスを信じて見守り、生きとし生けるもの全てへの感謝の気持ちを育みながら、人としての在り方や生き方を学ぶことを大事にしている。

取組の概要

🌿 取組の内容

平日週5日の3歳児から5歳児の森のようちえんを中心に、週1日の未就園児の親子クラスや赤ちゃんクラス、自然保育を体験できる家族向けのイベント、多世代を結び持続可能な地域づくりを目的としたマルシェも開催。

🌿 施設や場の特徴、プログラムの特徴

天理市高原地域3町全ての自然環境や人、伝統行事など全てを保育資源とし、その地域の課題を子どもも大人も主体的に考え、取り組める機会を作っている。

🌿 実施体制について

ようちえんは園児15名、保育スタッフは12名の中から交代で毎日3人ずつ保育に入る。保育の質は保育者の質と考え、子ども一人一人の成長のプロセスや課題への取組に寄り添っていくためにも、保育者自身が自分と丁寧に対話し、心を整えて保育に入ることを大切にしている。





安全性への配慮

各フィールドや活動場所ごとに、季節や活動内容に沿ったリスク管理を行っている。森のようちえん団体安全認証を受け、スタッフだけでなく、保護者も全員が毎年救急救命講習を受講し、定期的に研修も実施している。

地域機関・団体との連携

天理市と「自然環境を活かした教育・子育てに関する連携協定」を締結し、子どもが真ん中の高原地域ならではの新たな教育モデルを目指している。

取組による効果

子供・保護者への影響

子どもたちは地域の中での多世代交流を通して、地域や人への愛着心が育まれている。日々の保育で自然と関わる中、身近な地域課題や環境問題を自分ごととして考え行動するようになった。地域の人が活動に賛同し、子どもの育ちを共に見守ってもらえる環境が、保護者にとって心底安心して子どもを預けられる場となっている。

地域社会への影響

これまで地元住人だけで町おこしや里山整備等をしていたのが、若い世代が関わることで、これまで生まれなかったアイデアや継承につながる動きが見られる。耕作放棄地活用や放置林の再生、廃校を利用した親子向けのマルシェなど、関係人口が急増し、森のようちえん関係者や移住者と地域住人が交流する機会が増えた。

取組を通じて全体的な所感

幼児期の子どもにとって多世代が集い、多様な価値観に触れながら地域で成長を見守ってもらえる環境はこれ以上ない豊かな体験の場だと感じている。保育者や保護者にとってもたくさんの温かい目を子どもたちに向けてもらえる安心感は大きい。非認知能力や自己肯定感、本物の生きる力が育まれているリアルな姿を地域の人にも感じてもらい、自然保育の本質や重要性を共有できることがうれしい。これからの時代に求められる教育・保育の在り方だと確信している。